



“アルビクス” キャプチャーユニット MODEL CAP-1080i

取扱説明書

Ver. 1.2

ご使用前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、安全の為に指示に従って下さい。もし、不明な点があれば販売店か弊社におたずね下さい。

目次

注意事項	2
1. 主な機能と特長	3
2. 仕様	4
3. 各部の名称と機能	5
4. ダウンコンバート機能	7
5. 接続例	8
6. ドライバインストール	9
7. キャプチャ機能使用例	10

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

警告

- ◇ 内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としてはいけません。
（火災や感電、故障の原因となります。）
- ◇ 煙が出たり、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

- ◇ 電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。
（感電やショート、火災の原因となります。）
- ◇ 電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。
（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）
- ◇ 電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。
（感電やショート、火災の原因となります。）
- ◇ 仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。
（火災や感電の原因となります。）

お願い

- ◇ 風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。
（故障の原因となります。）
- ◇ 次の様な所には置かないで下さい。
湿気が多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く
埃の多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所、安定しない台の上、傾いた所
（故障の原因となります。）

1. 主な機能と特長

1. 1 CAP-1080iの機能

- ◇HD-SDIまたはSD-SDI信号を接続し、PCにキャプチャするユニットです。
- ◇アルピクス映像/音声エラー装置と連動させることで、エラー発生時の映像をキャプチャするなど様々な用途でお使いいただけます
- ◇ダウンコンバータを内蔵しておりますので、HD、SDに関わらずキャプチャが可能です。

1. 2 CAP-1080iの特徴

- ◇モニタ用にVBS/アナログオーディオ及びSD-SDI/エンベデッドオーディオが出力されます。
- ◇HD-SDI入力時
 - ・入力されたHD-SDIをダウンコンバートしたVBS/アナログオーディオ及びSD-SDI/エンベデッドオーディオを出力します。
 - ・VBSおよびSD-SDIの画面サイズは16:9LB、サイドカット、スクイーズ、14:9LBから選択が可能です。
 - ・エンベデッドオーディオのグループ1~4のうち、任意のグループを選択し、SD-SDI出力信号のCh1~Ch4へ割り当てることが可能です。
- ◇SD-SDI入力時
 - ・入力された映像信号の画面サイズは変更せずVBS/SD-SDIに出力します。

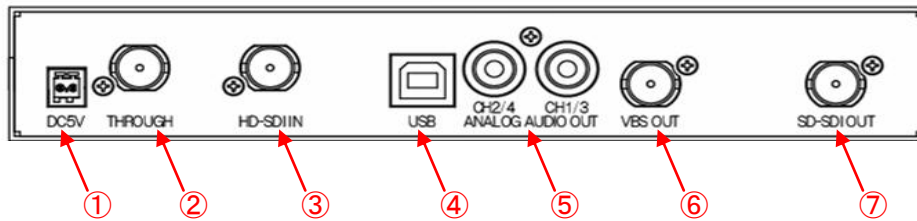
2. 仕様

映像入力	信号形式 (映像)	SD-SDI SMPTE259M-C 480i[D1] HD-SDI SMPTE292M 1080i	
	信号形式 (音声)	エンベデッドオーディオ 48KHz 24bit 4グループ16ch	
	入力信号数	1系統	
	入力接栓	BNCコネクタ	
映像出力	信号形式 (映像)	SD-SDI SMPTE259M-C 480i[D1]	
	信号形式 (音声)	HD-SDI 入力時	エンベデッドオーディオ 48KHz 24bit 4ch 入力信号の任意のグループを出力信号 のCh1~Ch4へ選択出力
		SD-SDI 入力時	入力信号をスルー
	出力信号数	3系統 (VBS、SD-SDI、スルー出力)	
	出力接栓	BNCコネクタ	
音声出力	信号形式	アンバランス ステレオ	
	出力信号数	2系統 (オーディオL、R)	
	出力接栓	RCAコネクタ	
通信制御	制御	RS-232C 非同期、全2重、9600bps	
		D-SUB9ピン	
		1系統 (メンテナンス用)	
外形寸法		W176×H29×D127 (突起含まず)	
重量		約 400g	
電源電圧		5V±5% DC (付属のACアダプタで供給)	
消費電力		約 10W	
使用温度		5℃ ~ 40℃	

仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります

3. 各部の名称と機能

<背面パネル>



①DC5V

付属のACアダプタからDC+5Vを供給します。

②THROUGH

入力されたHD-SDI信号がスルー出力されます。

③HD-SDI IN

キャプチャを行うHD/SD-SDI信号を入力します。

④USB

映像キャプチャ時にPCと接続を行います。

⑤ANALOG AUDIO OUT

入力されたHD-SDI信号のモニター音声が出力されます。
出力する音声はディップスイッチより選択可能です。

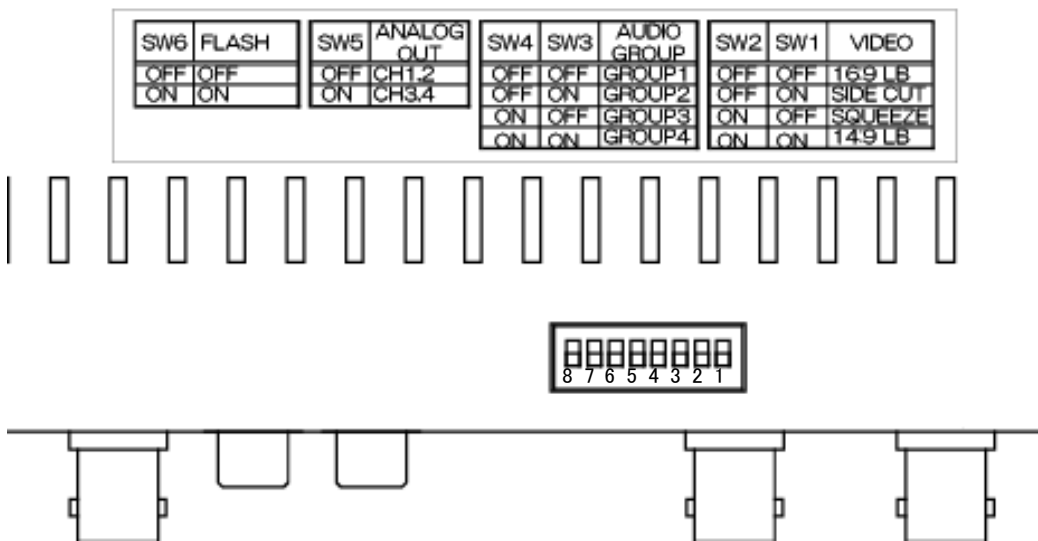
⑥VBS OUT

ダウンコンバート後の映像がVBSで出力されます。

⑦SD-SDI OUT

ダウンコンバート後の*映像がSD-SDIで出力されます。

<裏面ディップスイッチ>



SW1、SW2 VIDEO

映像の出力モードを選択します。

SW3、SW4 AUDIO GROUP

SD-SD I、アナログオーディオへ出力する音声を選択します。

SW5 ANALOG OUT

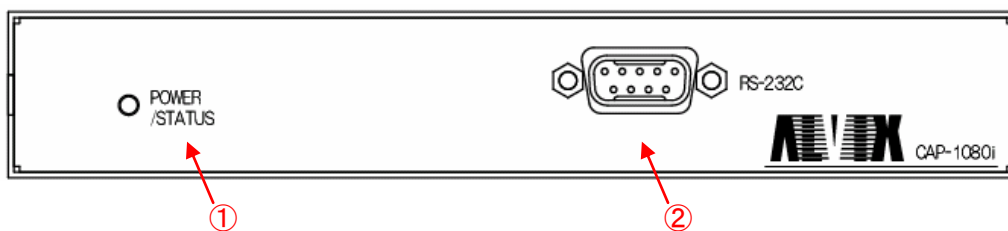
アナログオーディオへ出力する音声を選択します。

SW6 FLASH

通常はOFFに設定してください。

RS-232Cを使用して設定した動作を有効にする場合のみONにします。

<フロントパネル>



①POWER/STATUS

電源が投入されている場合、次のように点灯します。

- ・HD-SD Iが入力されている場合：常時点灯
- ・SD-SD Iが入力されている場合：3秒点灯、1秒消灯の繰り返し
- ・入力が無い場合：1秒点灯、3秒消灯の繰り返し

②RS-232C

パソコン等から設定を行う場合に使用します。

詳細は別紙の外部制御仕様書を参照してください。

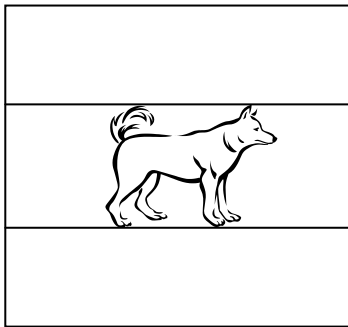
4. ダウンコンバート機能

HD-SDI入力時、出力するSD-SDI信号の表示モード選択、表示位置、表示サイズの微調整、出力するオーディオグループの選択を行うことが可能です。SD-SDI入力時、ダウンコンバートは機能せず、入力された信号はスルーされます。

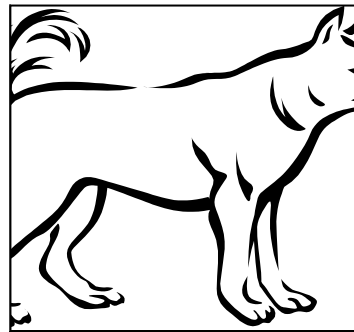
4. 1 表示モード

4種類の表示モードから選択することが可能です。

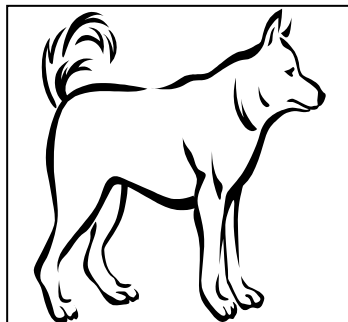
16:9LB



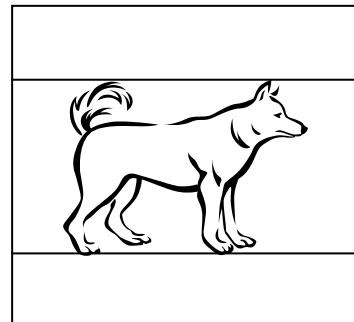
サイドカット



スクイーズ

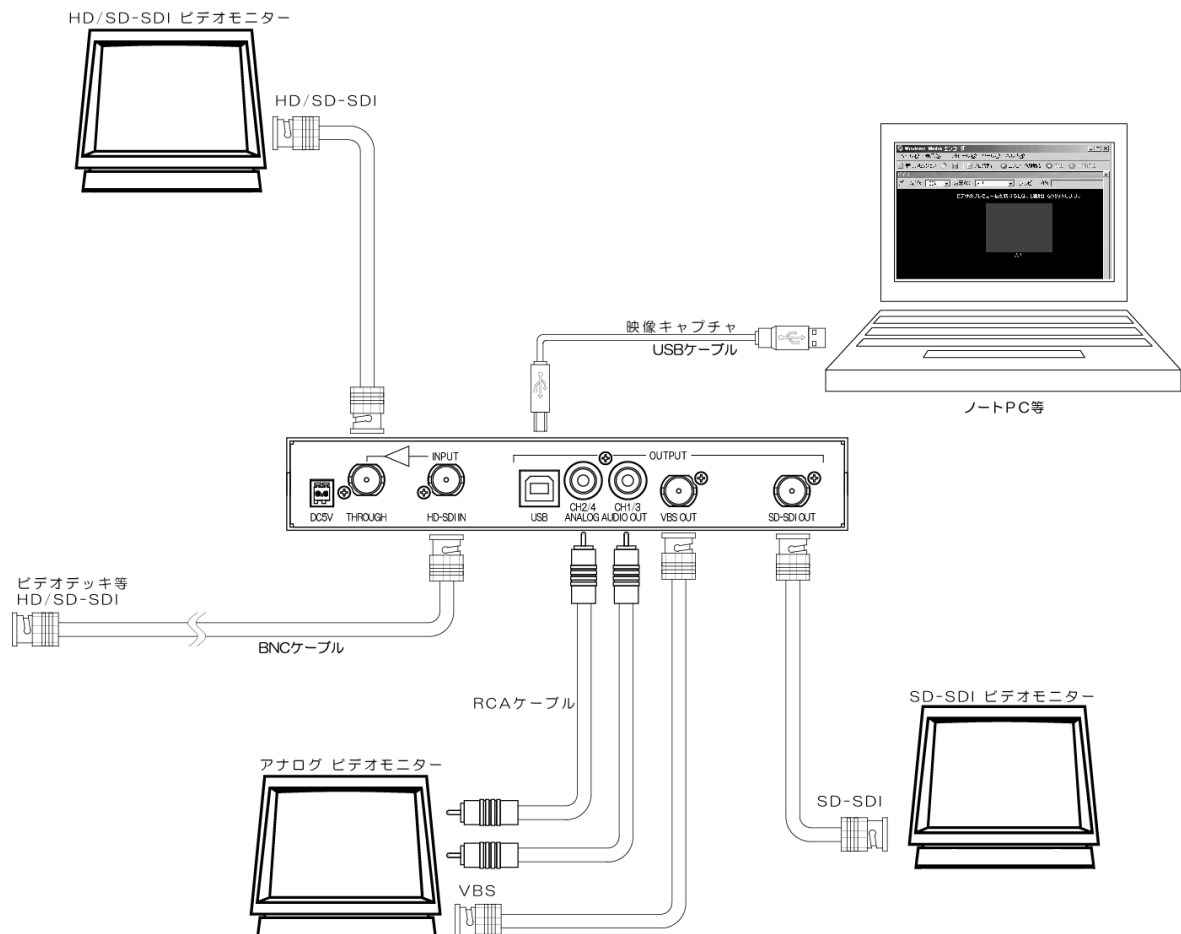


14:9LB



5. 接続例

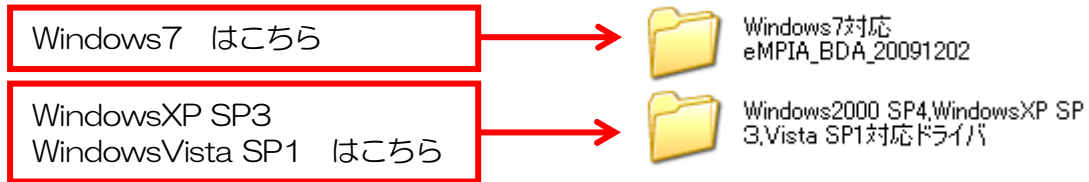
CAP-1080iとパソコンの接続例です。
アルビクス映像／音声エラー検出装置の取扱い説明書に接続図がある場合は、そちらを参照してください。



6. ドライバインストール

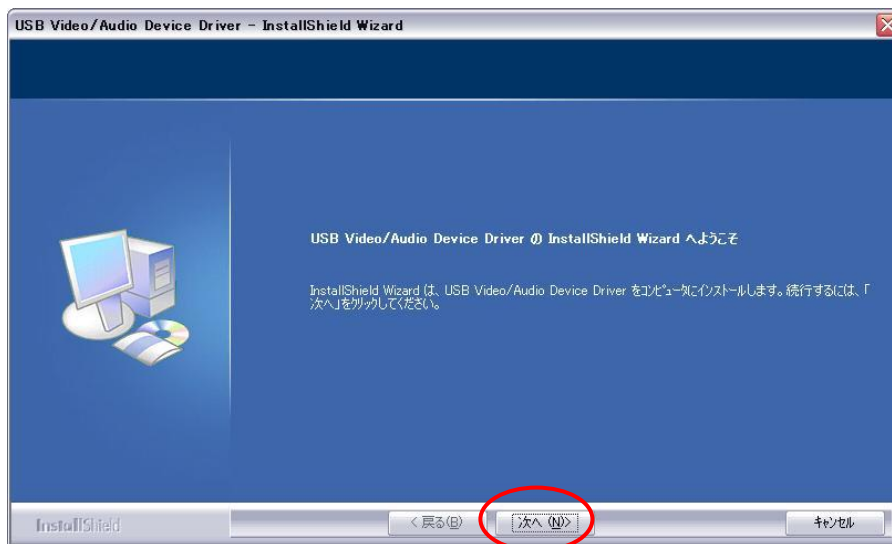
PCにドライバをインストールする方法を説明します。

1. 付属CD「キャプチャ Driver」フォルダ内に各OSに対応したドライバのフォルダがありますので、該当するフォルダを選択し、Setup.exe を実行します。

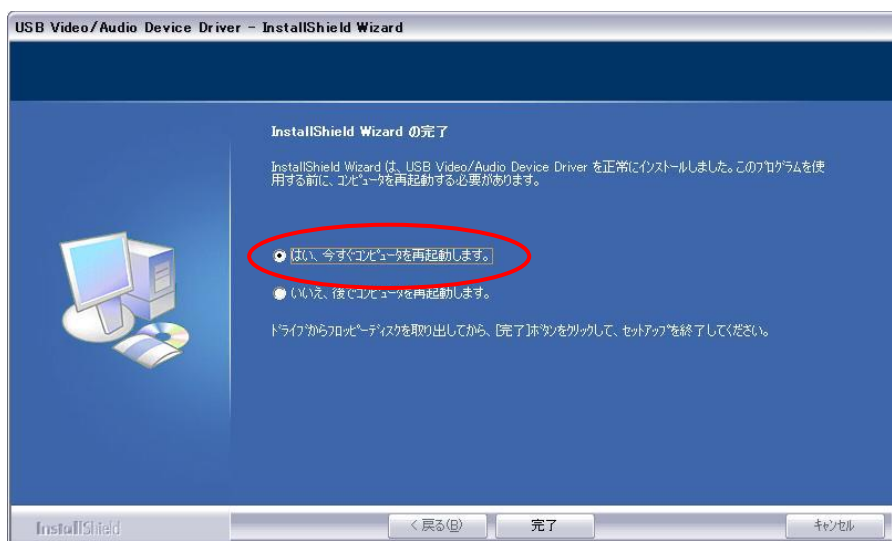


下記インストールウィザードが起動します。

2. 下記画面が表示されるので、「次へ」をクリックします。ドライバがインストールされます。



3. インストールが完了すると、下記画面になりますのでPCを再起動して下さい。ドライバのインストールは完了します。



7. キャプチャ機能使用例

キャプチャしているデータをプレビューしたり、ファイルに保存する為には
キャプチャソフトを使用します。

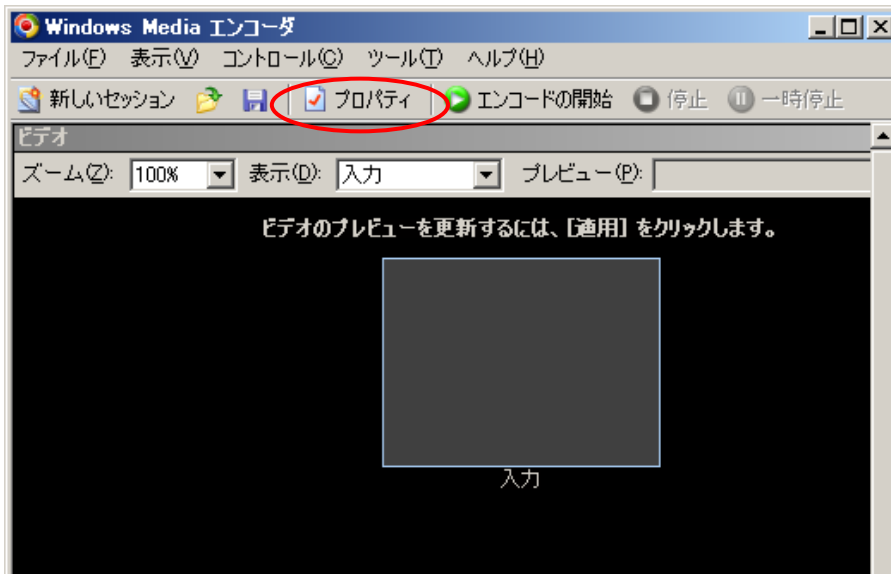
キャプチャソフトは「Direct X」に対応している物であればどれも使用可能です。

※付属CD「VideoWorks」フォルダのキャプチャソフトをインストールして
使用する事も可能です。

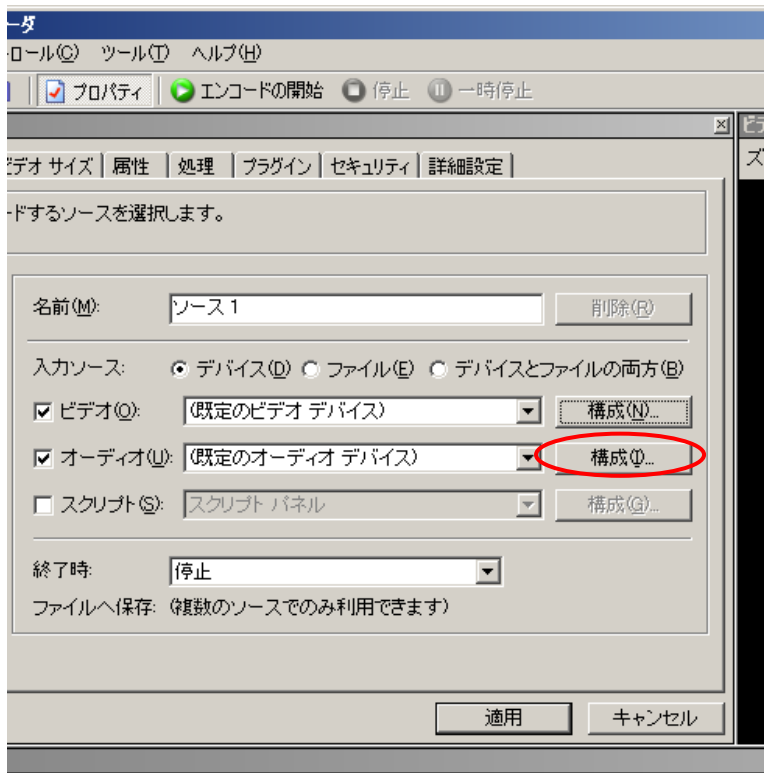
ここでは、Windows Media エンコーダでの使用例を紹介します。

(事前に CAP-1080i 付属のデバイスドライバをインストールしておく必要があります。)

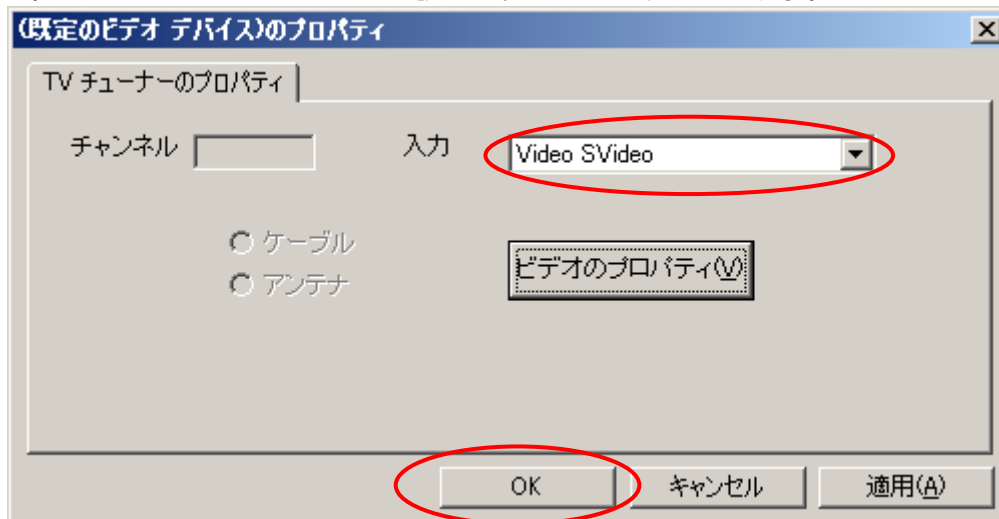
1. プロパティをクリックします。



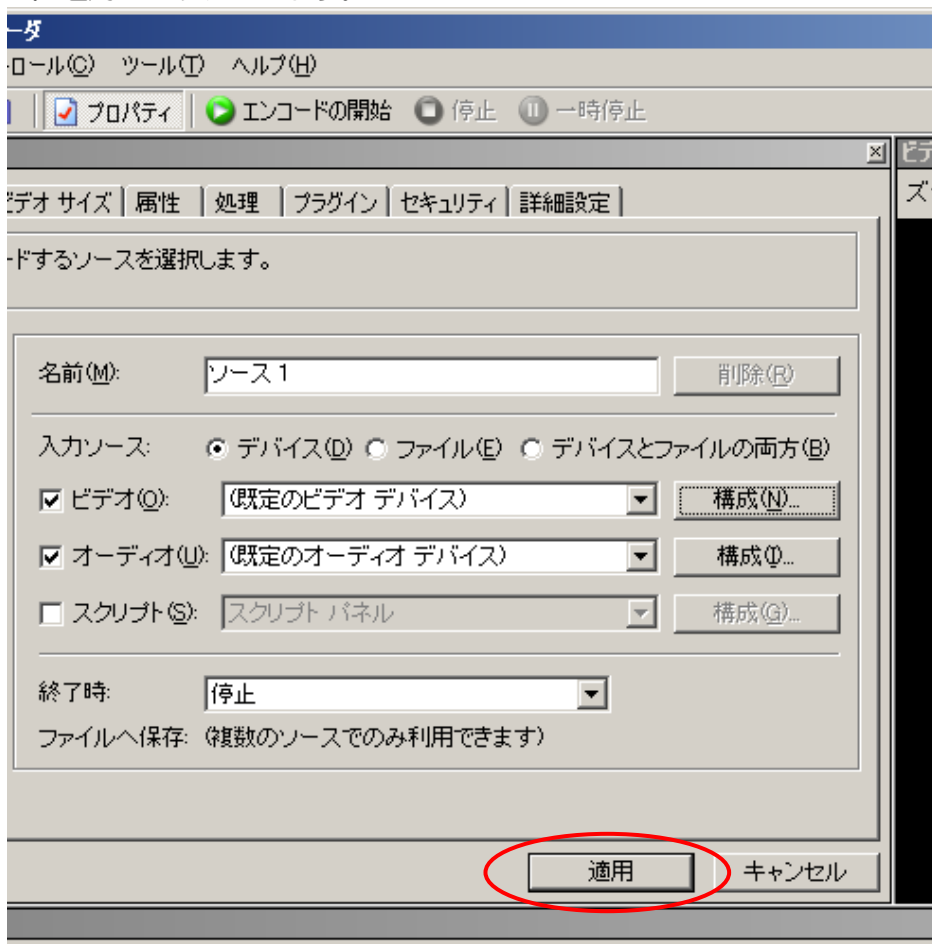
2. ビデオの構成をクリックします。



3. 入力を“Video SVideo”に設定し、OKをクリックします。



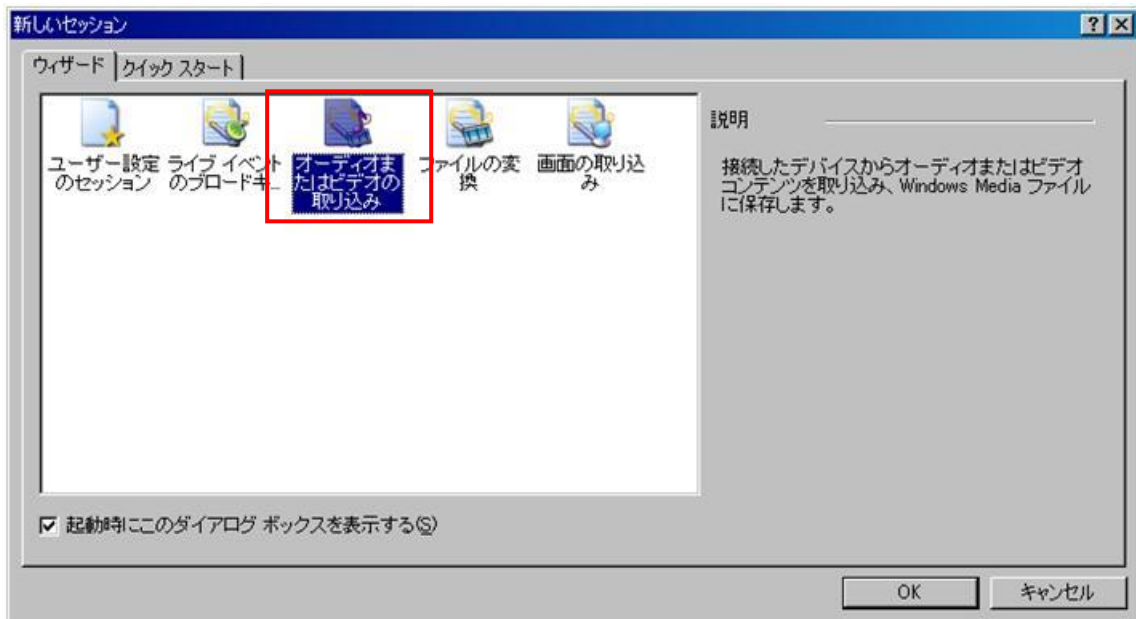
4. 適用をクリックします。



5. Windows Media エンコーダのウィンドウにキャプチャ中の映像が表示されます。

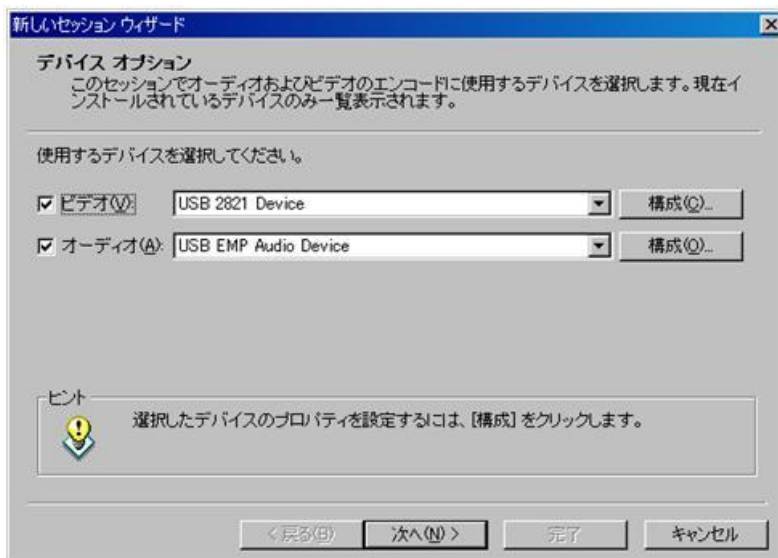
※補足 Windows Media エンコーダを使用して
キャプチャデータをファイルに保存する方法を下記に説明します。

1.



“オーディオまたはビデオの取り込み” を選択します。

2.



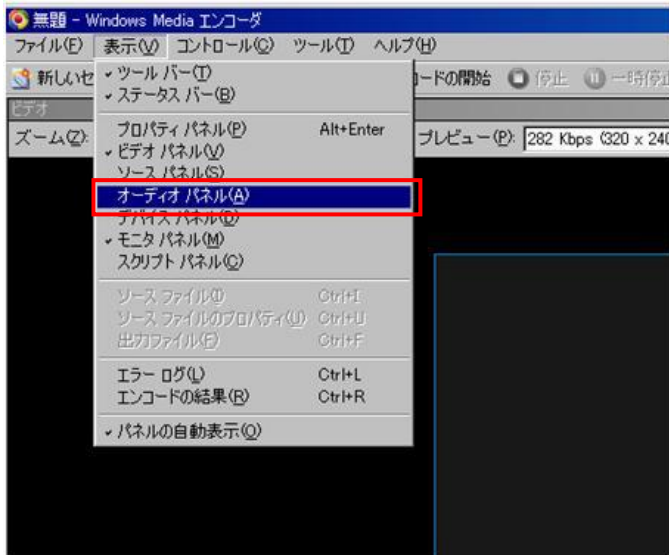
ビデオ、オーディオともに以下のデバイスを選択します。

ビデオ：USB 2821 Device

オーディオ：USB EMP Audio Device

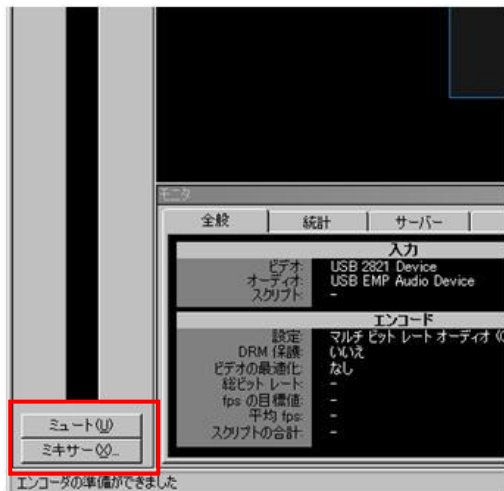
その後、エンコード結果のファイルの保存先など指定して“完了” をクリックします。

3.



“表示” → “オーディオパネル” をクリックすると、左側にオーディオの設定ウィンドウが表示されます。

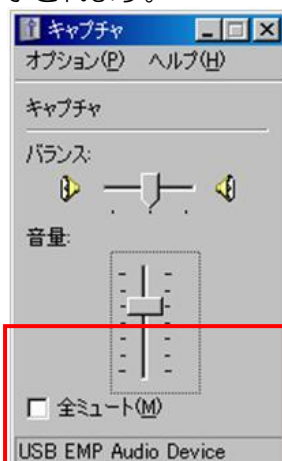
4.



“ミュート” が有効になっている場合、解除後、“ミキサー” をクリックします。

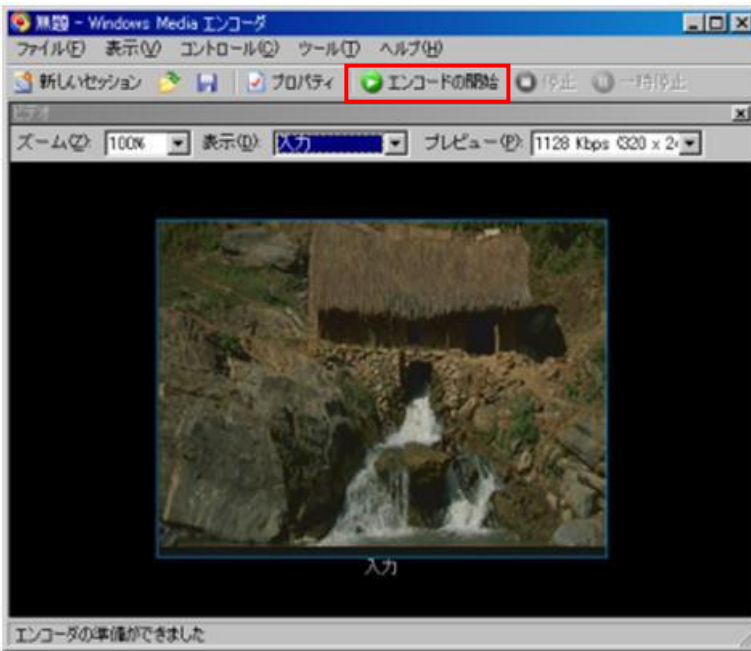
5.

WindowsMedia エンコーダとは独立したウィンドウで“キャプチャ”というダイアログが表示されます。

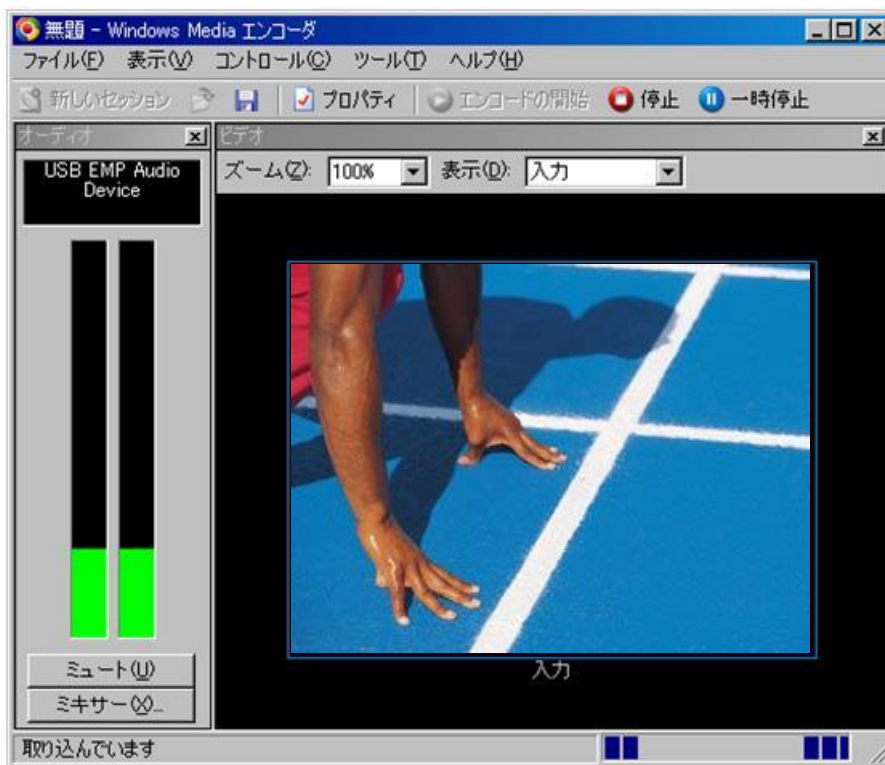


“全ミュート” の解除を行い、音量の調整を行います。

6.



“エンコードの開始” をクリックします。



エンコードが開始され、音声もキャプチャされたファイルが指定のフォルダへ保存されます。
※画面はハメコミ合成です。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。

なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

TEL
担当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214

新潟県燕市吉田法花堂1974-1

TEL：0256-93-5035

FAX：0256-93-5038